

北海道資本市場構想の実現に向けて

1. 主旨説明

札幌証券取引所は1950年「北海道経済の発展と道民の利益保護」を目的に設立されましたが、平成10年の「金融システム改革」を始めとする環境の激変を受け、現状では十分に機能発揮をしているとは言いがたい状況にあります。一方、北海道経済の現状をみると、産学官あげて自主自立の実現に向けた取組みが進められておりますが、依然として厳しい状況が続いております。

北海道が経済成長を続けるためには、経済の核となる産業や企業のさらなる育成が不可欠であります。幸いにして北海道には世界に通じる素材が豊富にあるほか、食の安心・安全や自給率の問題などで北海道の役割がクローズアップされてきている現状を踏まえると、今まさに中・長期的な視野に立った企業や産業の育成は急務であり、我が国における北海道の位置付けを明確にする時期でもあろうかと思えます。

そこで札幌証券取引所は、北海道経済の活性化に資するため、地域の資金調達・流動化のニーズを満たすべく関係先が協調して働く必要があると思い、平成15年の「札幌未来戦略研究会報告書」において原案が示された「北海道資本市場構想」の実現を目指すことにしました。

2. 構想の概要

「北海道資本市場構想」は大きく三本の柱で構成されます。

【第一の柱】「株式市場」の上場促進

道内の企業が積極的に上場し、上場メリットを享受することにより、更なる成長を遂げることが、産業の育成や雇用の創出、地域の活性化にもつながることと思います。

特に、アンビシャス市場への上場は北海道における起業家精神の象徴的存在であり、関係者の継続したバックアップ体制が必要です。

【第三の柱】「情報の受・発信機能」の確立

各企業や団体に蓄積されている情報、いわば調達ニーズと投資ニーズの情報を集約することにより、新たなマッチングの機会や多様な上場商品の開発にもつながります。

【第二の柱】 「上場商品の多様化」による 市場機能の活用

① 多様な商品の上場

ETFやファンドなどの商品化は進んでいますが、北海道イメージの商品設計は可能と思えます。

② 公社債市場の検討

道内地方債等の発行・流通市場の検討が必要な時期を迎えているほか、地方債市場へ住民参加の機会を確立することは、道民の地方財政への意識の高揚にもつながることと思います。

3. 「北海道資本市場構想」に向けての活動

「北海道資本市場構想」の実現に向け、会員証券会社を始め、地元金融機関、VC、北海道庁等、いくつかの企業・団体が集まって議論をするいわば「北海道資本市場会議」をつくり、札幌証券取引所と協働して構想実現に向けた調査・検討及び実行活動を行います。当面の参加者以外の企業・団体についても、テーマによって随時の協力要請で輪を広げていきたいと考えています。

4. 具体的プラン

構想実現に向けた行動は、即取り組み可能なものと、多様な上場商品の調査・検討からスタートするものとに分かれます。

例えば、第一の柱である道内経済の発展につながる有望な道内中小企業へのバックアップは、関係者と連動して即取り組み可能と考えておりますが、第二の柱に関しては、個別具体的な投資家の需要動向や商品スキームの検討から並行的に取り組んでいくものと考えております。

5. 北海道資本市場の運営管理

札幌証券取引所は、具体的プランの進捗状況と並行して、市場運営管理者としての検討も行います。

6. 結 び

札幌証券取引所は、北海道全体でその市場機能を有効に活用していただくことで、道外の資金はもとより、道民の貯蓄を北海道経済の活性化のために利用する「お金の地産地消、地域循環」機能の向上にもつながります。東京以北唯一現存する取引所として、地域の経済インフラとしてお役に立てるよう願っており、関係各位におかれましては、本趣旨をご理解の上、是非ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年5月20日

証券会員制法人 札幌証券取引所